

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176400323		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホームはぼ～れ1号館		
所在地	北海道苫前郡羽幌町栄町111番地		
自己評価作成日	平成22年6月23日	評価結果市町村受理日	平成22年7月23日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176400323&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176400323&amp;SCD=320</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年7月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々の心の声に手を差し伸べる介護をモットーに豊かな生活をお過ごし頂ける様職員と利用者が相互に、人に尽くし尽くされる喜びを感じあえる場を構築。グループホームはぼ～れは、平屋造りで1フロアの中にグループホーム2ユニットとデイサービスがあり、デイサービス利用者様や地域の方々との交流の場として機能しております。利点は協力医療機関である、道立羽幌病院が隣にあり、当グループの看護師との協力体制が今迄以上図られ医療面で安心出来る様努めています。今年度は、特に力を入れている点は、食事を通し利用者様への豊かな生活を実現する為、管理栄養士監修の基でメニュー選定委員会を設け、食の内容の充実と視覚から美味しいと感じて頂ける工夫に取り組んでおります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

道立羽幌病院に隣接し、平屋のデイサービスを併設した2ユニットのグループホームです。敷地内は広く、畑ではじゃがいもやかぼちゃ、長ネギ等の野菜が作られ、畑の手入れや収穫等利用者や職員と一緒に作業を楽しんでいます。法人全体の取り組みの中で、「食へのこだわり」に取り組み管理栄養士による摂取カロリーや栄養バランスの配慮や事業所毎に盛り付けや見た目の工夫で食事が楽しいものになるような取り組みや運営推進委員に食事を提供し、アンケート調査を実施する等取り組まれています。また、デイサービスに通う馴染みの利用者との交流や地元の陶芸サークル活動参加で地域に密着した活動にも積極的に取り組んでいます。一人ひとりの排泄パターンを把握して、オムツを使わない支援に取り組み排泄、排尿が自力で行えるようパワーリハビリや体操等機能訓練にも取り組んでいます。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社の経営理念、介護理念、事業所独自の年間目標を掲示すると共に、朝礼時、会議時唱和し職員は常に意識を持ち実践に繋げています。	法人の理念に基づき、事業所独自の理念、ユニット毎の理念をつくりあげ、具体的な年間目標を掲げ、職員間で共有している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の催事等積極的に参加し、事業所の催事にも地域の方々に参加して頂き交流を深めている。又老人会、陶芸会、日舞会等慰問も多く有り日常的に交流を持っています。	地域の夏祭り等の行事参加や老人会、陶芸サークルに参加し、地域の人達と日常的な交流に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の催事の参加、デイサービス利用者様、ご家族様又、他施設、老人会等の交流を持ち、情報交流等で認知症の人に対する理解で親交を深めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、現状を報告し意見交換を行いそこでの意見をサービス向上に繋げる取り組みを行っております。	町担当者や包括支援センター職員、家族や町内会役員が参加して運営推進会議が年6回を目安に定期的開催されている。また、食事を一緒にしながらアンケートを実施し、意見を取り入れている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町との連携は必要不可欠であり町との担当者の方々協力関係を持って頂いております。	町担当者や包括支援センターとは、日常業務を通じて情報交換を行い、連携を深めるように努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束0作戦」の意義を全ての職員が理解し、個々のリスクマネージメントを行い、身体拘束のないケアに取り組んでいます。	身体拘束ゼロに管理者、職員が取り組み認識の共有が行われている。また、内部の研修会等実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社全体での勉強会や、事業所独自のミーティングで取り上げ、見過ごされることがないように職員が正しく認識して虐待行為のないケアを実践しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社全体の勉強会で学ぶ機会を持ち、又利用者の必要が生じた場合や、ご家族様より相談に応じて必要な支援を行っております。			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に書面にて説明しています。その際は、必ず利用者様やご家族様の疑問点やご意見を伺い、十分な説明を行いご理解、納得を得た上で契約を交わしています。			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様との日々の連携を密にし、意見要望等を遠慮なく話して頂けるようにしています。又、相談窓口を契約書に説明し、周知徹底しています。	家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように市町村等の相談窓口の掲示をしている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月上長者会議を実施し共に全体会議を行い、職員の意見や提案を運営向上に反映させています。	運営向上委員会で、職員の意見や要望、提案を聞く機会を設けている。また、独自の事業所毎の評価を実施し、運営に反映している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月のミーティングで、議題として取り上げ解決策を取ったりと、各自が向上心を持って働けるようプリセプター制を取ります。			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のミーティングで各職員がテーマを決め講師となり内部研修を充実。外部研修会にも参加し、スタッフのスキルアップの向上に繋がっています。			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の施設の交流を取っております。ネットワークでの情報の共有や道北の研修会に参加しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階の面談場で、不安な事、求めている事等、傾聴し主訴を受け止め信頼関係を構築している。			
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談場面で、ご家族様の不安な事等や、ご意見を受け止め関係づくりを構築しています。			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様にとって、まず必要とする支援の見極めをご家族様とご相談し他のサービス利用も含め十分に検討している。			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護現場と、とらえず常に生活を共にする立場で、関係を築いています。職員は支えのみで、利用者様同士の思いやり協同の関係が持てています。			
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とご本人との絆が遠くならない様、毎月お便りでの報告や電話でお声を届けたり、誕生日にはご家族と一緒にのお祝いを取って頂ける様にしております。			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方、友人、老人会の方々の面会下さっております。又、地域の催事に出来る限り参加しております。	地域の夏祭りの行事参加や陶芸サークル、併設されているデイサービスに通う地域の人達を通じて、馴染みの人との交流の機会を多くもてるように支援している。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を把握し、人間関係に合わせホール内での席の位置の工夫やその場の雰囲気に合わせて職員が仲介で孤立する事がなく、利用者様同士、支え合い、思いやりがあります。			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時、受け入れ先との相談援助や支援を行っています。退居後においても相談等の支援を行っています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、ご本人のメッセージを察知し、そのメッセージを職員間で共有し支援方針に入れ実施しています。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、本人本位に支援ができるよう職員間で情報の共有が行われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人、ご家族関係者より情報を頂いている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、心の声に手を差し伸べる潜在的な所も感じ取り、全体像を把握に努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には日頃の関わりの中で想いや意見を聞き反映させるようにしている。アセスメントを含めスタッフ全員でモニタリング、カンファレンスを行っています。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の意見や思いを反映するようにしている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のファイルを作成し、食事、水分、排泄、バイタルチェック、身体状況および生活の様子、言葉やメッセージ等記録し、日々評価し介護計画に反映しています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族からの相談や要望等、常時受け付け意向応える対応を行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防等の協力を頂き交通安全や防火の説明を受ける機会を設けてます。ボランティアの慰問や文化センター等の催しに作品出展で参加しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望を優先した中での連携を密に、協力医療機関とは、看護師が適切な医療を受けられる様対応しています。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、看護師の配置等適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全スタッフは日々の健康管理や医療面の大切さを十分理解し、ホーム内看護師と情報を共有し、また協力医療機関の看護師との連携を密にしています。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供、入院中の経過や状況把握、スタッフ、看護師が出向き、入居者様の早期退院に運ばれる様、病院関係者との連携は密にしています。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から、医師、ご家族等の話し合いの場を持ち、事業所のできることできないこと等、見極め、今後の変化に備えての検討支援に取り組んでいます。	本人や家族の意向を踏まえ、医師や看護師、職員が連携をとり、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て心肺蘇生法の研修を行っています。看護師を中心に、勉強会を行い実践力を身に付けています。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、避難訓練、消火訓練を実施し、施設の定期点検も実施しています。	次年度、スプリンクラーの設置を行政と相談しながら計画している。また、消防署の協力を得て、年2回避難訓練を実施し、設備の定期点検も行われている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護理念に「利用者様の人権を尊重し…」を朝礼時唱和し、又独自の禁句言葉集を掲げ対応している。スタッフ間でも注意指導対処を取っています。	身体拘束廃止、禁止用語の研修会を実施して、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の関わりの中で、常に伺い言葉掛けで、利用者様が思いや希望を表現できやすい様対応しています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なホームの流れはありますが、制約はありません。今日一日を大切に一人おひとりのペースに合わせた支援を優先しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定です。自己判断困難な利用者様へは、お伺いを立てた支援で対応しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、職員が一緒に食卓を囲み家庭的な雰囲気での食の楽しみを作っております。下膳、配膳、食器拭き等、個々の力を活かし活動に繋げています。	法人全体の取り組みの中で、「食へのこだわり」に取り組み管理栄養士による摂取カロリーや栄養バランスの配慮や事業所毎に盛り付けや見た目の工夫で食事が楽しいものになるよう取り組んでいる。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの病名を把握し、食事、水分摂取量、栄養面での管理、一日を通して確保できています。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、声掛け・誘導・見守りで、全ての利用者様が日常化され実施しています。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おむつ使用の利用者様はなし。基本はトイレでの排泄での支援を行っています。昼夜共に。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように時間を見計らって支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	基本的には自然排便出来る様、食材の工夫、水分摂取に気を配り、体を動かす体操等取り入れてます。薬は医師の指示の基で、個別にプランに便秘の対応を記載しています。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の希望やタイミングを合わせ、気持ちの良い入浴を掲げ、湯温、入浴剤等工夫又、アミダクジ等で順番を決める等、利用者様平等を取っています。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。また、デイサービスの大浴場も利用している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動量を増やし、夜間帯の安眠して頂ける様関わっております。休息は個々に応じ対処してます。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員服薬に携り、個々の用法、副作用、薬の名前等把握してます。服薬チェック表で、服用に至るまでの確認の作業をしっかりと行っています。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中に役割があります。ゴミ出し、床モップ掃除、食器拭き、下膳等はご自分の出来る範囲で行って頂く。気分転換等、ドライブ、外食、畑へ等、外気に触れる。日舞会、お話し会、陶芸の会月1回慰問下さっています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の希望に応じて個別誕生会をご自宅又はレストラン等行っています。冬期間はホーム内で、地域の方、ご家族様と新年会、もちつき会等様々な行事を行い、5月～10月頃までは、外気に触れる機会を沢山設けています。	一人ひとりの希望にそって、戸外に多く出かけられるように支援している。また、夏祭り参加や畑での野菜作り、外食やピクニック等が行われている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その都度、買物等時は、お金を払う行為を行って頂いております。自販機で飲み物を買ったり行っております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々に掛かってきた電話や、ご本人より依頼を受けた際の対応支援しております。携帯電話を使用の利用者様もおります。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井も高く広々とした空間の中に、和室の静養室やランマからの日の光、ベランダからは日本海に沈む夕日が館内に差します。玄関(風除室)、リビングの壁には、四季を感じて頂けるように演出しています。	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、リビングや廊下の壁には、季節毎の飾りつけや行事参加の写真が掲示され、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その人に合った居場所を設定。居室はいつでも自由に臥床等出来ますが、日中居室での臥床者は居りません。日々、リビングで過ごして笑い絶えません。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前ご自宅で使い慣れた物や好み使用された物を持って来て頂いています。仏壇や電気椅子(マッサージ機)の利用者様もおります。日中はリビングで過ごされる。利用者様が殆んど、就寝時居室へ戻られております。	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、家族の写真等が持ち込まれている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の出来る事を役割として行って頂いたり、季節、月、日を感じて頂ける関わりで、自分の出来る事は、自分でやる。職員は目配り、見守りに徹する。自力の部分が増し、利用者様生き生きとしています。		



## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176400323		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホームはぼ〜れ2号館		
所在地	北海道苫前郡羽幌町栄町111番地		
自己評価作成日	平成22年6月23日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176400323&amp;SCD=370">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176400323&amp;SCD=370</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年7月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々の心の声に手を差し伸べる介護をモットーに豊かな生活をお過ごし頂ける様職員と利用者が相互に、人に尽くし尽くされる喜びを感じあえる場を構築。グループホームはぼ〜れは、平屋造りで1フロアの中にグループホーム2ユニットとディサービスがあり、ディサービス利用者様や地域の方々との交流の場として機能しております。利点は協力医療機関である、道立羽幌病院が隣にあり、当グループの看護師との協力体制が今迄以上図られ医療面で安心出来る様努めています。今年度は、特に力を入れている点は、食事を通し利用者様への豊かな生活を実現する為、管理栄養士監修の基でメニュー選定委員会を設け、食の内容の充実と視覚から美味しいと感じて頂ける工夫に取り組んでおります。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)	
---------------------------------	--

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	社の経営理念、介護理念、事業所独自の年間目標を掲示すると共に、朝礼時、会議時唱和し職員は常に意識を持ち実践に繋がっています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の催事等積極的に参加し、事業所の催事にも地域の方々に参加して頂き交流を深めている。又老人会、陶芸会、日舞会等慰問も多く有り日常的に交流を持っています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の催事の参加、デイサービス利用者様、ご家族様又、他施設、老人会等の交流を持ち、情報交流等で認知症の人に対する理解で親交を深めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、現状を報告し意見交換を行いそこでの意見をサービス向上に繋げる取り組みを行っております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町との連携は必要不可欠であり町との担当者の方々協力関係を持って頂いております。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束0作戦」の意義を全ての職員が理解し、個々のリスクマネジメントを行い、身体拘束のないケアに取り組んでいます。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社全体での勉強会や、事業所独自のミーティングで取り上げ、見過ごされることがないように職員が正しく認識して虐待行為のないケアを実践しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社全体の勉強会で学ぶ機会を持ち、又利用者の必要が生じた場合や、ご家族様より相談に応じて必要な支援を行っております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に書面にて説明しています。その際は、必ず利用者様やご家族様の疑問点やご意見等を伺い、十分な説明を行いご理解、納得を得た上で契約を交わしています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様との日々の連携を密にし、意見要望等を遠慮なく話して頂けるようにしています。又、相談窓口を契約書に説明し、周知徹底しています。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月上長者会議を実施し共に全体会議を行い、職員の意見や提案を運営向上に反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月のミーティングで、議題として取り上げ解決策を取ったりと、各自が向上心を持って働けるようプリセプター制を取ります。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のミーティングで各職員がテーマを決め講師となり内部研修を充実。外部研修会にも参加し、スタッフのスキルアップの向上に繋がっています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の施設の交流を取っております。ネットワークでの情報の共有や道北の研修会に参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階の面談場で、不安な事、求めている事等、傾聴し主訴を受け止め信頼関係を構築している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談場面で、ご家族様の不安な事等や、ご意見を受け止め関係づくりを構築しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様にとって、まず必要とする支援の見極めをご家族様とご相談し他のサービス利用も含め十分に検討している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護現場と、とらえず常に生活を共にする立場で、関係を築いています。職員は支えのみで、利用者様同士の思いやり協同の関係が持てています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とご本人との絆が遠くならない様、毎月お便りでの報告や電話でお声を届けたり、誕生日にはご家族と一緒にのお祝いを取って頂ける様にしております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方、友人、老人会の方々の面会下さっております。又、地域の催事に出来る限り参加しております。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格を把握し、人間関係に合わせホール内での席の位置の工夫やその場の雰囲気に合わせて職員が仲介で孤立する事がなく、利用者様同士、支え合い、思いやりがあります。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時、受け入れ先との相談援助や支援を行っています。退居後においても相談等の支援を行っています。			
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、ご本人のメッセージを察知し、そのメッセージを職員間で共有し支援方針に入れ実施しています。			
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご本人、ご家族関係者より情報を頂いている。			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、心の声に手を差し伸べ潜在的な所も感じ取り、全体像を把握に努めています。			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き反映させるようにしている。アセスメントを含めスタッフ全員でモニタリング、カンファレンスを行っています。			
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のファイルを作成し、食事、水分、排泄、バイタルチェック、身体状況および生活の様子、言葉やメッセージ等記録し、日々評価し介護計画に反映しています。			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族からの相談や要望等、常時受け付け意向応える対処行っています。			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防等の協力を頂き交通安全や防火の説明を受ける機会を設けてます。ボランティアの慰問や文化センター等の催しに作品出展で参加しています。			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望を優先した中での連携を密に、協力医療機関とは、看護師が適切な医療を受けられる様対応しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	全スタッフは日々の健康管理や医療面の大切さを十分理解し、ホーム内看護師と情報を共有し、また協力医療機関の看護師との連携を密にしています。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供、入院中の経過や状況把握、スタッフ、看護師が出向き、入居者様の早期退院に運ばれる様、病院関係者との連携は密にしています。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から、医師、ご家族等の話し合いの場を持ち、事業所でできることとできないこと等、見極め、今後の変化に備えての検討支援に取り組んでいます。			
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て心肺蘇生法の研修を行っています。看護師を中心に、勉強会を行い実践力を身に付けています。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て、避難訓練、消火訓練を実施し、施設の定期点検も実施しています。			
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護理念に「利用者様の人権を尊重し…」を朝礼時唱和し、又独自の禁句言葉集を掲げ対応している。スタッフ間でも注意指導対応を取っています。			
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の関わりの中で、常に伺い言葉掛けで、利用者様が思いや希望を表現できやすい様対応しています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なホームの流れはありますが、制約はありません。今日一日を大切にお一人おひとりのペースに合わせた支援を優先しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定です。自己判断困難な利用者様へは、お伺いを立てた支援で対応しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、職員が一緒に食卓を囲み家庭的な雰囲気で作ってあります。下膳、配膳、食器拭き等、個々の力を活かし活動に繋げています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの病名を把握し、食事、水分摂取量、栄養面での管理、一日を通して確保できています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、声掛け・誘導・見守り・介助で実施しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	夜間のみおむつ使用の利用者様はいますが、基本はトイレでの排泄での支援を行っています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	基本的には自然排便出来る様、食材の工夫、水分摂取に気を配り、体を動かす体操等取り入れてます。薬は医師の指示の基で、個別にプランに便秘の対応を記載しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の希望やタイミングを合わせ、気持ちの良い入浴を掲げ、湯温、入浴剤等工夫を行っています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動量を増やし、夜間帯の安眠して頂ける様関わっております。休息は個々に応じ対処してます。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員服薬に携り、個々の用法、副作用、薬の名前等把握してあります。服薬チェック表で、服用に至るまでの確認の作業をしっかりと行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中に役割があります。ゴミ出し、床モップ掃除、食器拭き、下膳等はご自分の出来る範囲で行って頂く。気分転換等、ドライブ、外食、畑へ等、外気に触れる。日舞会、お話し会、陶芸の会月1回慰問下さっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別の希望に応じて個別誕生会をご自宅又はレストラン等行っています。冬期間はホーム内で、地域の方、ご家族様と新年会、もちつき会等様々な行事を行い、5月～10月頃までは、外気に触れる機会を沢山設けています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その都度、買物等時は、お金を払う行為を行って頂いております。自販機で飲み物を買ったり行っております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々に掛かってきた電話や、ご本人より依頼を受けた際の対応支援しております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井も高く広々とした空間の中に、和室の静養室やランマからの日の光、ベランダからは日本海に沈む夕日が館内に差し込みます。玄関(風除室)、リビングの壁には、四季を感じて頂けるように演出しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その人に合った居場所を設定。居室はいつでも自由に臥床等出来ます。その日の希望で日中居室での臥床されている方もありますが、リビングでレクリエーションや歌を唄ったりして過ごされております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前ご自宅で使い慣れた物や使用されていた物を持って来て頂いております。少しでも自宅のお部屋に近い状態になり環境の変化が少なくなる様工夫しております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の出来る事を役割として行って頂いたり、季節、月、日を感じて頂ける関わりで、自分の出来る事は、自分でやる。職員は目配り、見守りに徹する。自力の部分が増し、利用者様生き活きとしています。		



### 目標達成計画

事業所名 グループホーム はぼ～れ

作成日: 平成22年 6月23日

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在、実施している運営向上委員会での各事業所評価で、火災関連対応の項目の追加が必要。	各事業所評価に火災関連対応の項目を追加する。	評価実施項目に追記する。	1か月
2	18	地元の人々との交流やご本人の思いを大切にしながら、地域の陶芸サークル等に積極的に参加していく。	戸外に出かける機会を多くし、地域の人達との日常的な交流をさらに深めていく。	地域の陶芸教室や料理教室等のサークルに参加していく。	6か月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。